

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年1月20日(金)	確認目的	循環・攪拌の管理(要求事項②関係)
確認箇所	K4タンクエリア		
確認設備	<input checked="" type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input type="checkbox"/> 移送設備	<input type="checkbox"/> 希釈設備 <input type="checkbox"/> その他

測定・確認用設備の一部であるK4タンク底部に設置する攪拌器の設置状況及び関係する検査記録の確認を行った。なお、攪拌器は、タンク10基の水が均一となった状態にするために必要な重要な設備である。設置は、規制庁現地検査官の立ち会いの下、実施された。

- ・タンクへの投入前に東京電力社員による外観検査が行われ、機能に影響を及ぼす恐れのある損傷がないことを確認していた。(写真1、2)
- ・攪拌器には、6φmmのワイヤー1本、9φmmのワイヤー2本、電源ケーブルが取り付けられていた。(写真3)
- ・タンク内への吊り下ろしは、攪拌器上部に取り付けた6φmmのワイヤーを手動ウインチで巻き下げることにより行っていた。ワイヤー及び電源ケーブルに印(攪拌器から5m、10m、15m、16m)があり、着底前は巻き下げ速度を緩め慎重に作業を行っていた。
- ・攪拌器の着底後、ワイヤーの固定が行われた。

確認
結果



(写真1) 投入前の攪拌器の状況



(写真2) 規制庁職員による外観検査の状況



(写真3) 攪拌器の吊り下げ状況



(写真4) ワイヤーによる固定の状況

【東京電力からの聴取内容】

- ・攪拌器が着底していることは、目視では確認できないが、水平に着底していることを、巻き下げたワイヤーの長さで判断する。2箇所にも9φmmのワイヤーを取り付けており、巻き下げた長さが2本で同じであることを確認している。
- ・地震があった際、攪拌器の転倒、位置ずれがないことをワイヤーの取り付け状態によって確認する。